

指定管理評価表(立花北生涯学習プラザ)

令和2年3月31日現在

施設概要	立花北生涯学習プラザ(尼崎市塚町3丁目39-7) 開館時間:平日、土曜日9:00~21:00 日曜日9:00~17:00(休館日:祝日、年末年始) 施設設置目的:教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供 事業内容:立花北生涯学習プラザの使用に関すること及び施設の維持管理			
指定管理者の名称	株式会社ハウスビルシステム			
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日			
業務概要	立花北生涯学習プラザの管理業務(①使用の許可、取消し等会館の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計、その他)			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	貸室利用者数	30,135 人	33,431 人	39,905 人
	貸室稼働率	35.55 %	37.92 %	37.29 %
	自主事業開催数	4 回	- 回	- 回
	自主事業参加者数	1,232 人	- 人	- 人
所管課・所管課長名	総合政策局立花地域振興センター立花地域課・奥平 裕久			
評価対象期間	平成31年4月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	自主事業については、回数は少ないものの、若い世代向けの講座や、住民や登録団体と連携した自主事業を実施している。また、市民からよく訊かれる事項等を参考にマニュアルを作成し、職員で共有するなどサービスの向上に努めている。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		B	災害等の緊急時に対応できる体制が整っている。また、適正な施設管理がなされており、個人情報管理についても問題はない。採用時の研修は行っていないが、適時指導等を行ったり、外部研修やセミナーに積極的に職員を派遣している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		B	収支状況は適正である。また、経費削減に向けた取組みがなされており、収支も良好である。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		B	監査役による監査を受け、適正な会計手続きがなされており、経営状況についても問題はない。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		B	文書等は、適切に管理されている。また、備品についても台帳に基づいて定期的に確認が行われている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> ・立北ふれあいまつり ・活動グループとの連携事業 ・地域の課題やニーズに合った自主事業 ・施設の周知向上策の展開 	<p>これまでに登録グループによる実行委員会と公民館との共催で行われていた「立北ふれあいまつり」(現・立北ふれあいまつり)に、今年度より共催者として加わった。また、登録グループとの関係づくりに努め、地域課と登録グループをつなぐ役割を果たしている。</p> <p>活動グループを自主事業の講師として迎え、連携事業として実施している。また、グループの活動を取材し、その内容をHPに公開するなど、プラザでの活動情報を発信している。次年度は、アンケートから要望のあった内容を自主事業として取り組む考えを持っている。</p>

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定、事業計画に基づき管理運営等について、良好に遂行している。 ・経費削減については、普段から施設の点検を行い、故障箇所については早期対応、及び適切な施設維持のための内部伝達を行うことにより老朽化が進む施設でありながらも利用者から苦情が寄せられない環境づくりに努めている。 また、職員間でも共通認識の下で経費削減に取り組んでいる。 ・自主事業や登録グループとのつながりについては、独自の取組みで連携事業を積極的に行っている。 ・以上の点から、総合的に良好な管理運営を行っている。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。